

# 令和3年度 県政運営評価戦略会議の運営について（案）

## 1 令和3年度戦略会議における評価方法

### (1) 基本的な考え方

令和2年度における行動計画の初年度評価から、「評価基準の客観化」と計画改善見直しに向けた「委員からの提言」により重きをおく評価手法としており、令和3年度においても、この方針は継続する。

### (2) 令和3年度評価におけるポイント

令和2年1月の国内における新型コロナ感染の発生以来、本県では、その対応に全力を上げている。しかしながら、令和2年度行動計画・総合戦略はその策定期間から、新型コロナの影響が反映されたものではない。

新型コロナの影響を受けた事業を含む「施策評価」は、「新型コロナの影響の定量化は出来ない」ものの「その影響」や「対応状況」を加味する必要がある。

### (3) 令和3年度評価方法(全体)

評価対象：「令和2年度行動計画(2年目)」及び「令和2年度総合戦略(初年度)」

第1段階			第2段階		
達成率による「事業」ごとの客観的「判定」			会議での議論を踏まえた「施策」ごとの「評価」		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動計画622主要事業</li> <li>・ 総合戦略253主要事業</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動計画91施策</li> <li>・ 総合戦略15施策</li> </ul>		
A	B	C	順調	要注視	要改善
平均 90%以上	平均 80%以上	平均 80%未満	平均90%以上	平均80%以上	平均80%未満
委員の「改善見直し提言」 <u>「新型コロナの影響」</u> <u>「新型コロナへの対応状況」</u> を加味					

#### (4) 新型コロナ対応の確認と評価方法案

新型コロナの影響を受けた事業については、「令和3年度行動計画への継続性」を考慮し、次のようにタグ付け（類型化・一覧化）する。

委員協議では、事業の方向性を踏まえた上で、その実績と成果の確認を行い、「最終評価への加味」と「改善見直しに向けた提言」に繋げる。

##### 影響事業の類型化

#### A 令和3年度計画では目標設定を廃止等するもの

##### A-1 令和3年度計画では目標設定を廃止するもの

事例：外国人延べ宿泊者数、クルーズ客船来県者数等

論点：パラダイムシフトを踏まえた議論

##### A-2 国際的・全国的な事業等の延期・中止の影響を受けるもの

事例：オリパラ事前キャンプ誘致数、全国学力・学習状況調査の正答率等

論点：不可抗力事由を踏まえた議論

#### B 「ニューノーマル仕様」を「ハイブリッド」したもの

##### B-1 数値目標の方向性は維持しつつニューノーマルの手法を取り入れたもの

事例：イベントや研修・講座の開催等

論点：ニューノーマルの手法の取り入れによる効果を踏まえた議論

（対応が既に数値目標の実績に反映されている場合があることに留意）

##### B-2 数値目標では測ることができない補完的な取組みをしたもの

事例：阿波おどり海外公演・指導者派遣回数等

論点：補完的な取組みの効果を踏まえた議論

#### C 「ニューノーマル仕様」をはじめ全く新たな手法で推進する項目

● デジタル社会の構築

● グリーン社会の構築

○ 新次元の分散型国土の創出

} 新たな視点

事例：徳島ファン・ドラフト会議イベントの開催等

論点：アフターコロナにおける「3つの国難」打破に向けた議論

## 2 今後の戦略会議の開催スケジュール

R3. 7~9月 …… 行動計画・総合戦略の評価（会議3回程度を予定）

R3. 10月 …… 行動計画及び総合戦略の評価結果提言書の決定、現地視察の実施